

フレッシュジュニア大会 大会実施要項

【試合について】

- 1 本大会は、3年生以下を対象とし、次年度に向けて本格的な野球を身に付けるステップアップを目的として行うことから、2022年度公認野球規則を基本に本大会実施要項に基づき行うこととする。
なお、グラウンドは、2022年度公認野球規則に準じて投手・本塁間は14m、塁間は21mとする。
- 2 大会使用球は、マルエスJ号球とする。(試合球は、主催者側で準備する。)
- 3 試合を行うチームは、試合開始時間の30分前までにグラウンドへ集合すること。
- 4 ベンチは、抽選番号の若番チームを1塁側とする。
- 5 決勝戦も含め、試合は6イニング制とし、1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
なお、同点の場合は延長戦を行わず、抽選で勝敗を決定する。
また、3回以降10点以上、5回以降7点以上の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
- 6 審判は、4人制で行うこととし、球審は碧南少年野球育成連盟審判員が行うこととする。
- 7 D.E (ディ. エントリー) 制を適用する。
《D.E制について》
 1. 「D.E」と球審に宣言し、1打席のみ出場できる。
 2. D.E選手は、1回の打席を完了しなければならない。
なお、出塁した場合、走者として本塁ベースを踏むか、攻撃イニングが終了するまで交代できない。
 3. 守備には就くことができない。(D.E通告前の選手が守備に就くこと。)
 4. どの回、どの打順でも出場できる。
 5. 走者のアウトで打撃が完了しなかった場合、再度、指名を受けることができる。
 6. 監督は、「D.E」か「代打」かを明確に球審へ通知すること。
- 8 ファウルボールの処理は、ボールの飛んだ側のベンチで処理し、バックネット側は、原則として攻撃側にて処理すること。
- 9 打者・走者・ベースコーチのヘルメット、金属バット、捕手の防具は、全て連盟公認のものを使用すること。
- 10 ベース盤は、移動固定とする。
- 11 三振後の振り逃げは適用しない。
- 12 インフィールドフライはコールしないが、落球により攻撃側に不利が生じた場合は、インフィールドフライのルールを適用する。
- 13 投手は、1日60球を超えて投球することはできない。
また、60球を超えずとも1試合3イニングまでとする。
- 14 ボークは適用せず、口頭注意のみとするが、走者に不利が生じた場合は、審判判断によりやり直しを命ずることとする。
- 15 一度、試合を退いた選手も4回以降、再度、出場できることとする。
- 16 ベースコーチは、指導者が補助として就くことも可とする。
- 17 イニングの先頭打者は、準備投球中、ネクストバッターズサークル内で待機すること。
- 18 ネクストバッターズサークル内では、立った状態でバットを下ろして待機すること。
なお、プレーが停止している状況での素振りは認めることとする。
- 19 試合中における選手の補助(控え選手との投球練習・準備投球の代理捕手など)は、背番号を付けたコーチが補助することも認める。

【チーム・選手に関すること】

20 ベンチ入り選手は、1チーム20名以内とし、背番号を付けること。

監督・コーチの背番号は、30・29・28とし、ベンチ入りは6名以内とすること。

21 試合前の先攻・後攻決めにあたっては、監督・主将が大会本部へ集合し、メンバー表を4部（大会本部用・球審用・相手チーム用・自チーム用）提出すること。（メンバー表には、監督名・主将名・選手ふりがな・控え選手等、明確に記入すること。）

記入の無い選手は、試合に出場できません。

当日、代理監督で試合を行う場合、メンバー表へ代理監督者の名前を記入のうえ、提出時に大会本部・球審・相手チームに伝えること。

なお、合同チームで参加し背番号が重複する場合、メンバー表の選手氏名欄に所属チーム名を記入し明確にすること。

22 選手交代、判定に対するアピール等は、監督（代理監督を含む）、及びプレーに関わった当該選手が行うこと。

23 原則としてユニホーム（背番号有り）、チーム帽子、スパイク着用とするが、チーム事情等によりユニホーム等を統一できない場合においては、運動ができる服装（帽子・運動靴・ジャージなどを着用）で背番号を着用していれば、試合への参加を認めます。

24 参加選手は、必ずスポーツ保険へ加入していること。

【その他】

25 グラウンド内外を問わず、万一負傷などの事故が発生した場合、応急処置は行うものの、その後の治療等については、主催者側はその責を負わない。

26 グラウンド（応援席含む）には、ゴミ等を残さず、必ずチームで持ち帰ること。